

礎





茨城県民間保育協議会青年部部長
金上保育園 白田 礼治

への対応、今後においてもいつ私たちの生活に影響が及んでもおかしくない時代となりました。今私たちが経験している様々な出来事をしっかりと検証しながら、新しい価値観を受け入れ、それぞれの地域の子供たちがのびのびと元気に生活できるよう、私達保育者の英知を結集してまいりましょう。

拝啓、皆様におかれましては日頃より青年部の活動にご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

本年度は、どの施設においても新型コロナウイルス感染症の予防対策に苦慮されていることだと思います。未だに収束の兆しが見えず不安を抱えながら対策に追われる日々で、職員の皆様は様々な工夫や努力を重ねて、施設における新しい生活様式を模索しながら、子ども達、保護者、そして自分自身の安全と、安心して生活のできる環境の維持に努めておられる皆様に心より敬意を表したいと思います。

今後においても必要不可欠な社会インフラである私たちの施設が、地域からの付託と信頼に応えていけるよう、皆様とともに協力しながら責任をもって運営をしていきたいと思ひます。

さて、この度の新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い準備に支障をきたし、これまで発行が遅れていた礎46号ですがようやくお届けすることができました。内容にはこの度の新型コロナウイルス感染症対策においてそれぞれの施設からいただいた情報も提供させていただいています。皆様の新しい生活スタイルを構築していく為の一助となれば幸いです。

また、このような状況下でなかなか皆様とお会いして情報交換をする機会が取れなくなってしまいましたが、リモートでの会議などは私達の新しい生活のひとつの形だと思います。皆様とアイデアを出し合い、新しい事業の形、働き方というも模索していきたいと思ひます。

近年発生している自然災害や今回のような経験した事のない感染症



青年部副部長(日保協担当)
富士見ヶ丘認定こども園 川俣 朋子

今期引き続き、青年部副部長・日本保育協会青年部茨城県支部長を務めさせて頂いております。富士見ヶ丘認定こども園の川又朋子と申します。

新しい時代(令和)となり、新型コロナウイルス、豪雨による大災害などこれまで経験したことがない出来事が次から次へと起こりました。私たちの保育環境も大きく変化し、新しい保育スタイルを試行錯誤しながら実施している日々かと思ひます。

青年部活動も通常の会議からリモート会議となり、委員の皆様とお会いできる機会が少なくなりました。急なことではありましたが、リモートでの会議や研修が通常化し、情報の共有、発信などの変化から新しい生活スタイル、保育スタイルを考えるきっかけになりました。

なかなか園からでられず研修や会議に参加できなかった青年部員の方も青年部活動に参加するきっかけができます。白田青年部長のもと、青年部だからこそその保育の見方、子ども達のための保育現場の在り方など、忌憚のない意見交換、活動をしていきましょう。



青年部副部長(私保連担当)
松山おおみや保育園 松山 圭一郎

青年部副部長の松山圭一郎(まつやま大宮保育園)と申します。今年度もよろしくお願い致します。

さて、新型コロナウイルスの影響によりこの半年で社会が一変致しましたね。今までの課題に加え、コロナ禍での保育や経営を考え、見直し、変化させ、そして実行していかなくてはならなくなりました。また、速報値ではありますが今年上半期(1月~6月)の出生数も昨年の「86万ショック」と言われた数字を更に下回る結果となっております。保育士不足の問題も解決する兆しは全くありません。そして経済不況もこちらから本番と言われております。残念ながらネガティブな話題ばかりです。ただ、現実からは逃げることはもちろんできませんので、我々は更にスピードを上げて変化しながらこの世界的困難に立ち向かっていかなければなりません。

だからこそ、我々青年部世代は智恵を出し合いながら共に学び、助け合っていかなければならないと感じております。直接会う機会が減ってしまっても寂しく感じておりますが、今後もオンラインを積極的に活用しながらポジティブに「ピンチはチャンス!」と捉え、青年部らしく取り組んでいけたらと思ひます。共に頑張りましょう!



事務局長
つくば保育園 滝田 昌弘

本年度も事務局長を務めさせていただきます、つくば保育園の滝田です。
さて、今まさに日本経済は、新型コロナウイルスの影響による未曾有の事態を迎えており、経済のみならず私たちの生活習慣や働き方、更にはそれらを含めた社会のあり方まで、大きな変革を余儀なくされております。今年の1月頃は、7月に開催予定でした東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらにその後の経済に向けての話題が大きくクローズアップされておりましたが、すっかり様相が変貌してしまっております。さらに新型コロナウイルスの影響は欧州、米国、南米諸国など海外にも広がり、世界が混迷の度合いを深めています。

このような状況の中、我々保育業界でも“新型コロナウイルスと共存”しながらの新しい保育スタイルを模索していかなければなりません。新たに出てくる様々な課題に迅速に対応しつつ「子ども達・職員が安心・安全に過ごせる保育園」を目指していきましょう。また、青年部では、次世代を担う後継者の先生が各委員会に参加しながら情報交換を行っております。青年部への加入を迷われている先生は、是非、滝田までご連絡下さい。

最後になりますが、諸先輩方からの引き続きのご指導、ご鞭撻ならびに青年部員へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



部員交流委員会委員長
あおぞら保育園 石川 一幸

本年度も、部員交流委員会の委員長を務めさせていただくことになりました、あおぞら保育園の石川一幸です。

昨年度は、当委員会の企画に多数の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、世界的に生活スタイルや、事業の仕組みが急激に変化し、園の運営においても子ども達の成長の機会の確保と、保護者の心のケアと安心確保に尽力する年になることと思います。

そんな中だからこそ、青年部員の横の繋がりでの情報交換が必要だと考えます。場の提供と活用を模索して参ります。昨年に引き続き、どうぞ一年間よろしくお祈りいたします!!



研修委員会委員長
認定こども園 協和なかよし園 中島 崇子

昨年度に引き続き、研修委員長を務めさせて頂いています、中島崇子です。

今年はコロナウイルス感染拡大予防のため、園内の行事に限らず、生活面全ての事に日々悩んでいます。そして委員会活動もなかなか進まず、委員会メンバーとの意見交換も難しい状況です。

民間保育協議会研修委員会として何が出来るのか。リモート会議を活用しながら、委員会メンバーと話し合い、今年度の委員会活動を進めていきたいと思っております。



広報委員会委員長
串挽保育園 山崎 公蔵

広報委員長を務めさせて頂き今年度で2年目になりました串挽保育園の山崎公蔵と申します。

さて、誰もが初めての新型コロナウイルス感染症に皆様は、日々対応に追われていることと存じます。広報委員会でも、これまで様々な場所へ外向き取材等して参りましたが、今年度は取材が出来ず、どのように広報誌「礎」を発行できるか委員会でも何度も話し合ってきました。このような状況ですので、委員会活動はリモートを中心に実施し、掲載記事もメール等活用し募ったりと「新しい委員会活動」を日々模索しているところです。

今後このような形での委員会活動が続くかもしれませんが、これを前向きに考えコロナ感染が心配だから出来ないではなく、コロナ感染が心配だから別の方法を挑戦しようと捉え、広報委員会を盛り上げていきたいと思っております。

今後とも、皆様のお力添えを頂きながら活動していきたいと存じますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

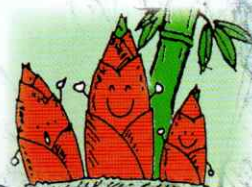


調査研究委員会委員長
認定こども園すずのき 鈴木 佳祐

昨年度に引き続き、調査研究委員長を務めさせていただきます、認定こども園すずのきの鈴木佳祐と申します。今年度は、皆様の園でも、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症に日々、頭を悩ませていることと存じます。困っている方、悩んでいる方の、皆様のお役に少しでも立てるように、今日の新しい教育・保育を諸先生方のアドバイスを頂きながら、追求していきたいと思っております。調査研究においてのアンケート等でお手数をおかけすることもあるかと存じますが、ご協力の程よろしくお祈り致します。



保育園訪問



筑西市

たけのこ保育園

やさしさとたくましさは
生きる力を育む

平成15年4月旧明野町で園長宅を開放して「家庭的保育たけのこ」を立ち上げ、保育に欠けるたくさん子ども達の保育を行ってきました。愛情いっぱいの職員とともに、4年後の平成19年4月1日にたけのこ保育園(定員45名)を開園しました。

全職員で全園児と関わり合う保育を目標に、13年間の保育園を経て、令和2年4月1日定員96名の幼保連携型認定こども園に移行しました。

園舎のまわりは自然がいっぱいで、木戸を開けると目の前に広がる「たけのこ山」は、四季の移り変わりを優しくさせてくれ(特に春の新緑・秋の紅葉時にはコンサートを開催)、子ども達にとって大好きな遊び場です。

日常生活そのものの中にすべての学習があるという信念のもと、人として成長していく為の「根っこ」を築くための手助けになれるよう、一人ひとりのお子さんを大切に、生活ひとつひとつを丁寧に関わる保育を実践していきたいと考えています。

ランドセルを背負って一人で歩いて小学校に入学するまでの大切な乳幼児期だからこそ、たくさんの失敗体験と試行錯誤が、いつの日か成功体験の喜びにつながると信じ保護者の方々と一緒に手を携えて、どんな時にも「子供だまし」はせず真剣に向き合い、子ども達に優しい心を持たせ、自身と勇気を身に付け、困難に耐えられる生きる力を身につけさせてあげたいと願っています。

たけのこっ子は、しっかりひろく根をはって 太陽に向かってまっすぐ伸びていく竹のようになろうね。



玄関にはボードフォリオが展示され、保育の「見える化」がなされています。



ポリシー



朝のお集まりは、ホールに全園児が集まって毎日行われています。たけのこ保育園にいる人は皆“家族”なので、体操だけではなく、申し送りなどの情報共有も園児と一緒に聞いています。

遊び



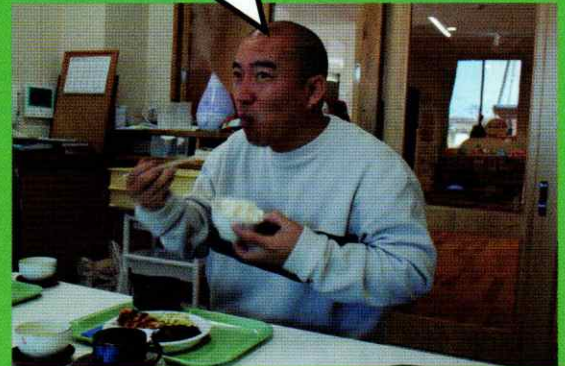
今まで行っていた一斉保育からコーナー保育へと進め方を転換中です。屋内では園児が好きな遊びを見つけ、落ち着いて過ごしていました。

環境



園のすぐ傍に裏山があり、四季折々の自然に触れることができます。節分では鬼の登場場所になったりします。

うまっ！！



給食に舌鼓を打つ中山先生

訪問を終えて

たけのこ保育園さんへ取材に何うと、ポリシーにもある通り、園長先生はじめ職員の皆さんが“家族”のような笑顔と挨拶で温かく受け入れてくださいました。“家族”参加の朝の集まりにも参加させていただき、子どもたちからも大きな声で歓迎の挨拶をもらうことができ気持ちのいい一日のスタートをきることができました。

園舎を案内していただくと、保育室がクラス毎に隣接して配置されていることで、隣のお部屋から声が聞こえたり、姿が見えて、お互いに生活の様子や存在を近くに感じられ、大きなお家のようなとてもやさしい雰囲気が印象的でした。

また、たけのこ保育園のわくわくポイントは何と言っても保育園のすぐ傍のたけのこ山！四季折々に表情が変わる木々や草花が生え、斜面も緩急それぞれのバリエーションルートあり、大人の私たちもわくわくしてしまうようなあそび場が広がります。自然の中に身を置き、生き物に触れること、冒険すること、お友だちと協力すること自分で考えること、様々な経験体験を通して子どもたちがやさしく、たくましく育っていく「たけのこ保育園」

尾見純子園長先生はじめ、たけのこ保育園の先生方、お忙しいところ、取材を快く受け入れてくださりありがとうございました！



コロナ禍における取り組み紹介

生活様式等の変化

まつやま大宮保育園 松山 圭一郎 先生

新型コロナウイルスの影響により、今年度は保育や仕事のスタイルに大きな変化をもたらしました。ただ、私自身はそれをポジティブに考え、変化のきっかけをもらえたかと捉えスタッフと一緒に様々な取り組みやチャレンジをしています。

保育園においても新しい生活様式を!と言われておりますが、子どもたちの生活スタイルは今まで以上の手洗い・うがいの実施、登園時の玄関での検温(顔認証検温システムを使用)以外は大きな変化をさせていません。させていないというよりは対応に限界があると感じています。よって、子どものマスクの着用も強制はしていません。ただ、スタッフをはじめ、保護者や園に出入りする大人には強制的にマスクの着用、顔認証検温システムでの検温、アルコール消毒を行い、来客等外部の方にはコロナ対策用の来館名簿の記入をご依頼。またスタッフには出勤・休憩時の体温測定・記録を義務付けております。県の基準に基づき、県外移動や会食等の制限も設けました。また、行事が従来通り行えなくなりましたが、保護者を絡めないことにより、より子ども主体の形に切り替えることができました。登園自粛要請期間はオンラインでの交流やYouTube配信などにもチャレンジしました。

仕事のスタイルも変化。姉妹園間の会議全てzoomを使ったオンライン会議に変更。移動時間が大幅に削減できたこと、ちょっとしたミーティングも相手の顔を見ながら気軽にオンラインで開催することができるようになったこと。メールでのやり取りをビジネスチャット(LINE WORKS)に変更し、自園内のやり取りだけでなく、姉妹園間や部門間でのやり取りも見える化することにより、業務省略はもちろん、課題の洗い出しや情報共有、そして繋がりを強化することができました。採用活動についてはオンラインでの準備も整えましたが…。不人気で、学生の見学や説明会などは今まで通り受け入れをしています。

最後になりますが、多様な変化、対応を現状も続けている状況であり、これからもっと大きな社会的変化を迎えることになるかもしれません。冒頭にも述べた通り、ピンチはチャンス!と捉えてチャレンジし続けていきたいと思っております。



秋季大運動会

つくば保育園 滝田 昌弘 先生

今年は、新型コロナウイルスの影響により、例年通りの運動会開催とはなりませんでしたが、感染症対策で特に気を付けたのは、園児、保護者の体調の把握と参加者の分散でした。運動会前に検温シートを配布し、当日は、参加者の体温や体調の確認が取れない場合は「参加できない」と致しました。また、午前の部・午後の部への分散、観覧人数の制限、座席の指定とすることで、参加者の密を抑えることができました。プログラムも短縮して行いましたが、子ども達の待機時間が少なかったため、集中して競技に取り組みました。

いつも通りの運動会とはなりませんでしたが、これからは、感染症対策が当たり前前の時代として、少しでも子ども達の思い出に残る園行事が開催できるように取り組んで参ります。



コロナ対策

大沢保育園 宮田 和英 先生

以前は3~5歳児クラスが遊戯室にて午睡をしていましたが、令和2年2月に新園舎への引っ越しをしたことで、遊戯室の隣に一部屋増えた部屋を利用し、一人ひとりの距離を離すようにして午睡をしています。3~5歳児クラスのプール活動において、クラスを半分に分け、水遊び・入水チームとし、交代制にしました。

消毒に関しては、手洗い及びアルコール等での手指消毒を積極的に行う他、接触回数が多い扉の取っ手等の消毒清掃を行っています。また、宅配業者など、訪問者にはマスク着用をお願いすると共に、体温測定を実施しています。

職員・保育者に朝夕の送迎時間帯には感染防止の為、マスクを着用をお願いしていますが、園児には着用を強制するものではなく家庭の考えに任せている。また、熱中症対策として激しい運動の際はマスクを外すようにしています。

家庭との連絡に関しては、朝夕の送迎時の保護者とのやり取りは大切な一場面ではありますが、接触時間を減らす為に口頭連絡を減らし、連絡帳の活用を職員・保護者に促しています。

朝夕の保育では職員体制を調整し、可能な限りクラス別で保育を行っています。また、合同で行っている朝の体操を各クラス内で行う事に変更しました。



～ うち、こんなことやってます ～

お泊まり保育

はすみ保育園

木村 ゆり 先生

はすみお家キャンプ (新スタイルお泊まり保育)



キャンプ場を保育室の中で再現☆

近所のスーパーにお買い物！ではなく
今年は保育園をスーパーへ早変わり！買
い過ぎてお金が足りないグループも・・・

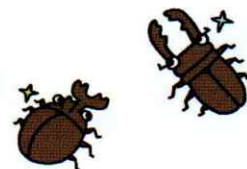


手作りキャンプファイヤー
この後火を灯して火が燃え
る様子は写真がありません
が、担当職員が扇風機やら音
響やらで盛り上げてくれま
した。

日中製作したランタンに火が灯
り、園児大はしゃぎ！！
(透明プラコップに御花紙を貼り、
100円ショップにあるランプを入れる)



お楽しみ花火大会。ソーシャルディスタンス
が保てる様な花火で、バックミュージックは鬼
滅の刃♪

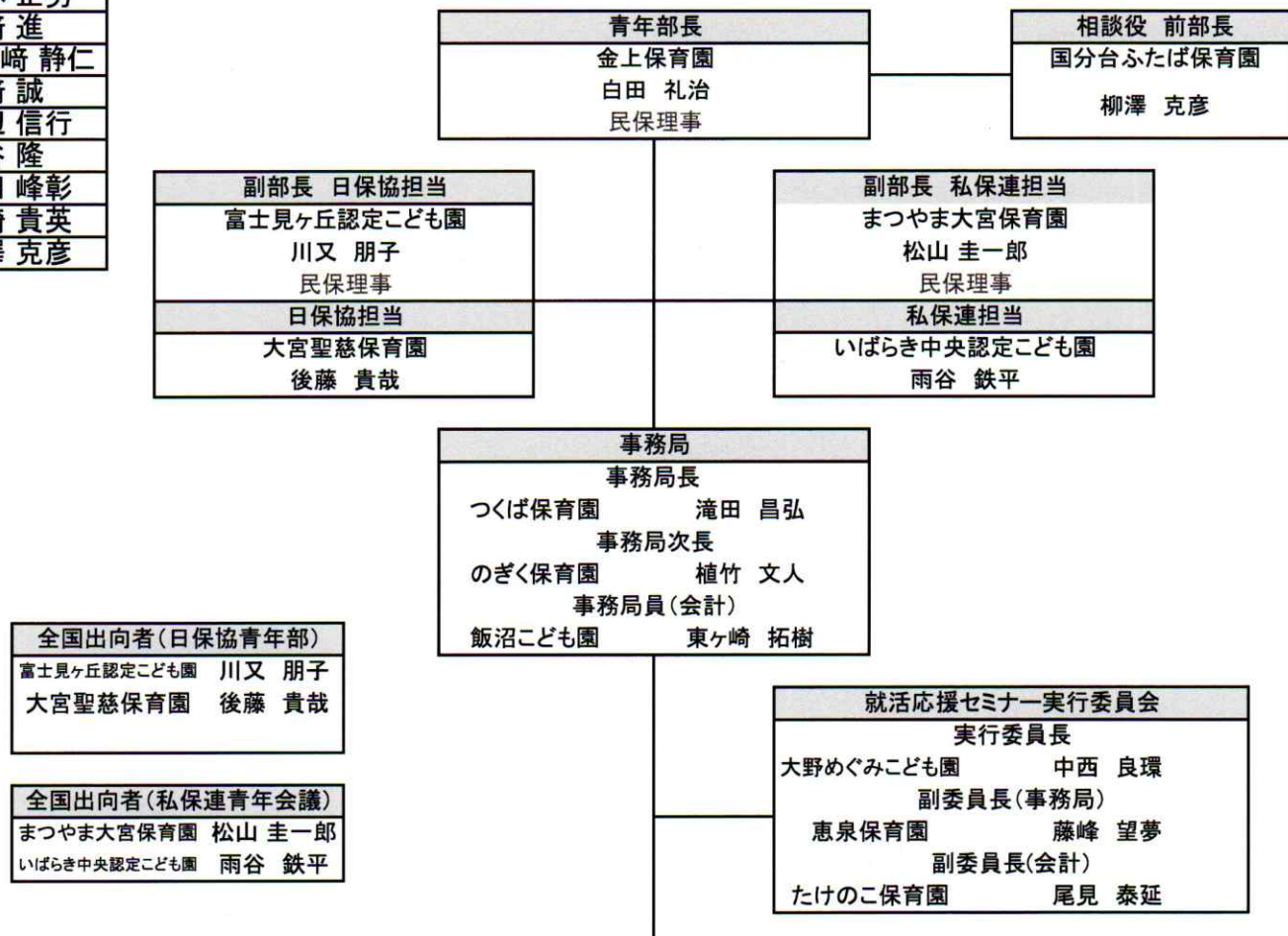


朝食は自分でおにぎりをラップ
でにぎり、お弁当箱に詰めます。

毎年近くの駅までお散歩でしたが、今年
はお弁当を持って同法人のベランダをお
散歩。3Fからの見晴が最高でした☆

令和2年度 茨城県民間保育協議会青年部 組織図

歴代青年部長	
初代	小林 正男
2代目	山崎 進
3代目	東ヶ崎 静仁
4代目	川崎 誠
5代目	渡辺 信行
6代目	大谷 隆
7代目	細田 峰彰
8代目	藤崎 貴英
9代目	柳澤 克彦



広報委員会	調査研究委員会	研修委員会	部員交流委員会
委員長 串挽保育園 山崎 公蔵	委員長 認定こども園すずき 鈴木 佳祐	委員長 認定こども園いずみ保育園 中島 崇子	委員長 あおぞら保育園 石川 一幸
副委員長 牛久みらい保育園 中村 康範	副委員長 いばらき中央認定こども園 雨谷 鉄平	副委員長 ミーム保育園 萱場 祐友	副委員長 たかば保育園 清水 利春
副委員長 境いずみ保育園 菊地 涉	副委員長 なかや保育園 河野 正堯	副委員長 元吉田さくら保育園 佐藤 聖悟	副委員長 岩間保育園 柴山 純
委員 瓜連保育園 小笠原 聖華	委員 しろはと保育園 谷島 宏実	委員 はすみ保育園 木村 ゆり	委員 豊浦さくら保育園 佐藤 孝政
つばさ保育園 河野 明子	おーくすふなばこども園 鹿志村 茂	つくし学園 鬼澤 英二	堀川保育園 堀川 宗愛
あんだんて泉ヶ丘 渡辺 謙	ほうとく保育園 桜井 みな	海の子保育園 川崎 えりか	第2こぼと保育園 安藤 伸泰
玉里第二保育園 戸田 見良	ひかり保育園 永田 真裕	わかな保育園 大橋 久絵	しらはね保育園 田尻 育子
旭保育園 浅倉 涼二	日の出こども園 埴 信晋	認定こども園真壁保育園 長谷川 夏生	アリス保育園 卯木 真哉
清恵保育園 浅井 道浩	はぐろ保育園 柴山 俊行	大沢保育園 宮田 和英	中央保育園 香取 秀総
筑子保育園 中山 天公	さしま保育園 中川 祐一	あずみの森保育園 五町香世子	四季の杜保育園 森川 道成
大和保育園 杉山 康宜	つくばこどもの森保育園 古谷野 好栄		
とりのす保育園 藤枝 高広			
アドバイザー 後藤 貴哉			

- ・ 広報委員会 (各種情報の取材と青年部広報誌「礎」の発行 他)
- ・ 調査研究委員会 (施設経営 or 運営に関わる各種調査及び研究 他)
- ・ 研修委員会 (視察や勉強会などの研修、企画及び運営 他)
- ・ 部員交流委員会 (部員同士の交流を最大の目的とする企画・運営 他)

編集／発行
茨城県民間保育協議会青年部
広報委員会

委員長	山崎 公蔵	委員	小笠原 聖華	／	河野 明子	／	渡辺 謙
副委員長	中村 康範		戸田 見良	／	浅倉 涼二	／	浅井 道浩
	菊地 涉		中山 天公	／	杉山 康宜	／	藤枝 高広
アドバイザー	後藤 貴哉						

第3回 趣味紹介コーナー

錦鯉の魅力

アリス保育園 卯木 真哉 先生

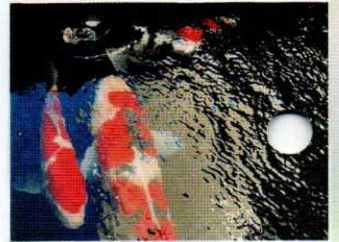
みなさん、アクアリウムという言葉を知ったことがあると思います。大半の方は、熱帯魚＝綺麗と思い浮かべることはないでしょうか。でも魚本来の本当の魅力とは、泳ぐ宝石と呼ばれる錦鯉にあると言われてます。

私自身、上野恩賜講演にて開催された関東錦鯉品評会に訪れたことが錦鯉を飼うきっかけです。錦鯉愛好家としてまだ未熟ですが、錦鯉と言えば池で飼うものと思う人がほとんどかと思われま。でも現在は飼育技術も進化して、水槽でも手軽に飼えるようになりました。(錦鯉には200種類以上の品種がいます)

さて話を戻しますと、現在一番大きいのが60cmの錦鯉を飼育しており、屋外には3つの大型水槽(最大1.5トンの水槽)があります。来年度の品評会に出品できるように飼育しております(現在はコロナ禍で中止)。家族には半ば呆れられています(笑)

さて錦鯉は、模様・体型・艶の3つから評価されます。人間は、赤ちゃんが大人になるまで何回か顔や体型が変わって成長していきますよね。錦鯉も1歳、2歳と年々変化していき、模様や体型などに表れます。そして中には立派な錦鯉に大化けることもあります。これが錦鯉飼育の醍醐味なのです。「自分の目利きで小さいころから見込んで飼育して品評会に出展させる」といった楽しみをもって飼育しています。

みなさん、錦鯉は大きくなるイメージがありますよね。でも水槽の大きさによって成長が止まります。盆栽飼育といえます。自園でも飼育しています。気軽に飼育できる錦鯉、60cm水槽や90cm水槽などでも飼育できますので、これを機に飼育してはみませんか?



キャンプライフ

串挽保育園 山崎 公蔵 先生

世間では近年、空前のキャンプブーム。連休時には、人気のあるキャンプ場は、すぐに埋まってしまうような状況です。

話はズレますが私は、20代前半から30代中盤までサーフィンを趣味にしていました。当時は、サーフィンが楽しすぎて、きっと50代になっても60代になっても続けているだろうと思っていましたが、役職に就いてからは、休みの有効活用が上手くできず少しずつ疎遠になっていきました。そんな時に友人から誘われたのがキャンプでした。初めは何を用意してよいか分からずホームセンターで安いテントを購入しキャンプ場で焚火を囲む程度でしたが、その時仲間と共有した時間が忘れられず年に数回ですがキャンプライフを楽しんでいます。興味なかった料理もキャンプのおかげで目覚め妻にも喜ばれています。今では、カレーや肉ジャガなんかも一人で作れるようになりました。(笑)



青年部リモートミーティング報告!!

最近では、コロナ禍の影響で人との接触を避けるため、リモート会議のシステムを導入し、画面越しに会議を行う団体や企業が増えています。リモート会議のメリットは特定の場所に向かわなくとも日程だけ合わせておけば場所を問わず通信環境さえ整っていればいつでもミーティングが開けるとい点です。今後、コロナ感染が落ち着いてからも、このようなミーティング方法が常識になっていくのでしょうか。

青年部でも全体会や各委員会活動などリモートシステムを活用し日々活動しておりますが、早くコロナ感染が収まって、青年部の仲間と顔を合わせ今までの活動が出来ますこと切に願っております。



コロナ禍あるある

